

事業所名

KTC放課後等デイサービスはぐぼんclass千種駅北

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025年

3月

1日

法人（事業所）理念	すべての子どもたちに多様な機会を提供し子どもの未来の選択肢を広げる						
支援方針	多様な活動・体験機会の提供を通じて、現在抱える本人の困り事や生き辛さを軽減し、自分らしく生き抜く力を育み支える。卒所後を見据え、社会で生きていくための知力、知識、技能、資格、モラル・マナー、一般教養の習得を5領域すべてを含む支援を実施するとともに、個々の状況や課題などに合わせた個別支援において各領域に特化した支援を実施し、能力の維持向上および自立のために必要な能力の向上を目指していく。スモールステップで結果だけでなく経過にもフォーカスして“ジブンのことはジブンでできた”を一つでも二つでも増やしていくように伴走しながら支援していく。						
営業時間	9時00分	から	18時00分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<p>健康的な生活習慣の促進や日常生活における基本的な動作や自立を促す</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康状態の維持、改善 生活リズムや生活習慣形成 基本的な生活スキル獲得 生活におけるマネジメントスキルの育成 					
	《活動・支援例》	<ul style="list-style-type: none"> 来所時の体温測定、体調確認 来所時の手洗いうがい 定刻での来退所の促進、確立 調理実習、家事実践の定期的開催 清掃による衛生管理 					
	運動・感覚	<p>正しい体の動かし方や姿勢保持、感覚の特性への対応を支援し、日常生活や活動における支障を軽減し自己肯定感を高める。また転倒事故等も防止する</p> <ul style="list-style-type: none"> 姿勢と運動・動作の基本的技能の向上 姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用 身体の移動能力の向上 保有する感覚の活用 感覚の特性（感覚過敏や鈍麻）への対応や環境整備 					
	《活動・支援例》	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な体育（運動）、外出の実施 外部講師のヨガレッスン 軽作業、創作活動による手先の巧緻性向上訓練 イヤーマフ使用などの合理的配慮 					
	認知・行動	<p>発達レベルに応じた各教科学習支援、認知の偏りに対する予防や誤認識による行動に対する支援等、状況に合わせた対応力や認識のずれなどについて支援する</p> <ul style="list-style-type: none"> 時間帯別活動を自ら確認し見立てを立てて行動できるよう支援し時間認知形成を促していく 発達に合わせた学習認知形成 対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得 社会生活・活動での適切な行動形成、認知の偏りに対する支援 					
《活動・支援例》	<ul style="list-style-type: none"> 各自の発達レベル（のびしろ）に応じた学習支援 社会的なルール、仕組み、マナー・モラル講習 外部講師によるビジネスマナー・PCスキル研修 						
言語コミュニケーション	<p>適切なコミュニケーション能力の獲得や言語の受容と表出、コミュニケーション手段の選択と活用をプログラム等を通し支援し、社会生活における関係性の向上を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> 自己理解（好き・嫌い・得意・苦手・長所・短所・性格等）の機会を多く創出し、理解を深めるとともに開示（言葉にするなど）もできるようにしていく 状況に合わせた「あいさつ」「感謝の言葉」「お願いする」や帰りの会での活動振り返り等による言語表出・受容 基本的なコミュニケーションスキル（聞く・話す・話し合う）やタイミング（声を掛ける・待つ）理解・習得の支援 様々なコミュニケーションツールや方法に触れ、適切なコミュニケーション手段の選択や活用ができるよう支援していく 卒所後を見据え、適切な言葉遣いや敬語などの習得を支援していく。また漢字（読み・書き等）を学び、活用できるようにすると共に資格取得で自信に繋げていく 						

	<p>《活動・支援例》</p>	<p>・様々な状況でのコミュニケーションワークの実施 ・振り返りやレポートでの自身の思いを言葉にする ・外部講師による手話教室 ・漢字検定受験</p>	
	<p>人間関係社会性</p>	<p>ルールに合わせた行動や他者との関係向上の手助けや助言等を通し、将来必要な「自ら人間関係を作る」または「関係修復」のための支援を実践的に行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己の行動や感情を理解しコントロールできるよう支援し、アンガーマネジメントや感情を言葉で伝えるための語彙力等を高めていける支援を行う ・自己理解・開示を進めると共に他者理解・受容も深めていき、関係性の向上を図る ・集団活動、グループディスカッション、共同作業、交通機関での外出を行いながら社会性の発達を支援し、社会生活で必要となる能力の向上を図る ・社会の仕組みやルール、社会資源の活用を学び、自立した社会生活を送れるよう支援していく ・社会生活に役立つライフハックの紹介や活用促進を行い、「日常生活」の当たり前をできるように支援する 	
	<p>《活動・支援例》</p>	<p>・生活スキル（調理・家事実践・処世術等）のプログラム実践 ・交通機関を活用した外出 ・自己理解・開示、他者理解・受容の機会の創出</p>	
<p>家族支援</p>	<p>学校やご家庭での様子を共有する時間を設け、かつ連絡帳にて情報共有を行い、必要に応じてご家庭内での支援方法等についての相談等を実施します。定期的な面談や日頃の様子や課題について保護者様と話し合い、お子様の成長に必要なことを共に考えていく体制を整えています。</p>	<p>移行支援</p>	<p>ライフステージに合わせた移行準備や地域とのつながりを一緒に考え、本人と家族のニーズやペースに合わせて、移行先と連携し支援内容・方法を共有し、スムーズな移行を実現していきます。また見学・体験を促進した上で自己決定を尊重しサポートしていきます。段階的に移行を進める新環境に適応出来るように継続的サポートもします。</p>
<p>地域支援・地域連携</p>	<p>子どもに関わる関係機関（保健、医療、福祉、教育）との情報連携や調整、支援方法や環境調整の相談援助を必要に応じて実施しています。相談支援事業所との生活支援や発達支援における連携を実施しています。また卒所後を見据え、周辺（事業所・最寄り駅等）の就労施設（継続A・B型・移行支援等）とも関係構築を図っていきます。インクルージョンの観点から、地域で開催されるイベントまたは各種コンクール等への参加を推奨し、社会参加及び地域社会への交流を実施しています。</p>	<p>職員の質の向上</p>	<p>日々の業務の中でPDCAサイクルを意識し、療育実践後の記録の際には、職員全体で振り返り次の活動内容について検討し、保護者様からの情報や子どもの様子等を職員全員で共有し支援の向上へ繋げています。社内カレンダーにて定めた職員会議では、発達特性・子どもや子育てについての社会情勢等・安全計画・虐待防止・感染症対策又は予防・緊急時対応等を実施しています。その他には、各種研修会にも積極的に参加し支援の質の向上に努めています。</p>
<p>主な行事等</p>	<p>別紙参照</p>		